

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|---|---|---|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 1 | 理念の実践的取組で、毎月のユニット目標やスタッフ毎の取組内容をホワイトボードに明記し、目的意識を持って業務に当たれるようにしています。しかし、目標達成根拠が明確に説明出来ないことがあります。 | 目標達成までの過程を段階的に示すことが出来る。 段階毎の目標達成の基準を、頻度や回数などの数値で表すことが出来る。 目標達成根拠を客観的基準に示して段階毎に説明ができる。 | 管理者・担当介護支援専門員は、職員と共に課題分析・抽出を計画作成の度にケース毎にコーチングを行う。 月次の家族への報告書に具体的取組内容を目標に沿った評価や内容を記載できるよう指導する。 | 12ヶ月 |
| 2 | 13 | 火災に対する防災訓練は実践的に行われているが、ハザードマップなど地域データに即した防災マニュアルとしては十分とは言えません。 | 公共放送の避難準備情報や地域防災本部・関係行政機関からの防災情報を迅速・適切に把握し、活用できるようにする。 地域防災で被害想定に対応した、地震・水害対応の防災マニュアルの基本を作成する。 | 鶴岡市の地震・水害対応のハザードマップと当事業所の位置関係から、想定震度や想定浸水深度を定める。 防災情報の取り扱いについて検討し適正化を図る。 地震・水害で広域災害時の情報伝達について検討し防災マニュアル作成に活用する。 | 12ヶ月 |
| 3 | | | | | ヶ月 |
| 4 | | | | | ヶ月 |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。